



初代
大島 精一郎 氏

自転車組み立ての修行で、東京に出てのち帰郷し、大島農機に入社。後に高田市議員、議会議長を歴任。大島農機株式会社 第三代社長。大島農機の自転車部門を独立させ、大島自転車商會を設立。1978年逝去(81歳)。



2代
大島 精次 氏

大学卒業後、2年間大島農機に勤務。後、大島自転車商會第2代社長に就任。現大島グループの始まりとなる。1984年上越ケーブルビジョンを創業。2014年「前島密賞」受賞。2019年逝去(83歳)。

大島農機(創業1917年／大正6年)
(1910年頃撮影)



「かくすれば かくなるものと知りながら…」

…やむにやまれぬ大和魂。1859年 安政の大獄で処刑された「吉田松陰」が詠んだ句である。吉田松陰は「松下村塾」の主宰で有名だが、学問と行動は一致しなければならぬとの思想のもと 自らも大胆な行動をしていた。幕末の動乱期 日本が外国の圧力に屈し危機に瀕している事に深い危機感を抱き、外国船に乗り込み密航を図ったり 老中の暗殺を計画したりと過激な行動に出る。当然捕まれば処刑されることは分かっていたはずだが、そんな彼が入牢中に詠んだ句である。「こんな行動を取れば逮捕され処刑される事は分かっているが、日本国の未来を思うと行動せすにはいられない」。松陰は道半ばで「安政の大獄」で処刑されるが、松陰に薰陶を受けた塾生たちが明治維新を推進していく原動力となる。高杉晋作・伊藤博文・山県有朋などがその代表格であり、木戸孝允も師弟関係にあつたと言われている。

業界の倒産廃業が続く地域紙の経営に乗り出す、土地の価格の一番高いところで福祉施設を開業する、経営の行き詰った老舗料亭の再建に乗り出す…普通に考えたら私のしていることは経営者として無謀かもしれない。しかし、「らしさ」のある上越づくりに誰かが取り組まなければ、上越も日本全体の景気の動向に左右され「地域全体が日本の下請け」になってしまうのだ。そこに上越の明るい未来は感じられない。

吉田松陰には比べようもないけれど、難しいと思つても誰かが取り組まなければならない事がある。吉田松陰が死した後、松下村塾の塾生たちが幕末に活躍し明治維新の一翼を担つたように、私が成し遂げられ無くとも、大島グループの若きリーダー達や、地域の若者が立ち上がりてくれることを大いに期待する。

幸いにして歴代の大島グループの社員の皆さん努力により、世にも不思議な異業種集団が出来上がりつつある。この異業種集団が上越を進化させていく更に大きなエネルギーとなって欲しい。その思いを込めて「経営の基本方針3」がある。

「面白き こともなき世を 面白く…」

…住なすものは「こころなりけり」。松下村塾で学んだ吉田松陰の弟子である幕末の志士「高杉晋作」の辞世の句と言われている。高杉晋作の人生も波瀾万丈。攘夷思想に基づき、ひとり長州藩(現在の山口県)が英・仏・蘭・米の四国連合艦隊に挑み惨敗。この戦闘で海外列強の軍事的強さを思い知らされた高杉晋作は、洋式の新兵器や戦術を積極的に取り入れ、農民や町人も志願できる「奇兵隊」を組織し、長州藩の軍事革命を起こした。その後「奇兵隊」は戊辰戦争はじめ討幕戦争で活躍し、明治維新の推進に貢献したと言われている。高杉晋作自身は肺結核を患い29歳の若さでこの世を去っている。多分、自分の幸せなど考える暇もなく人生を駆け抜け死んでいったのだろう。冒頭の句は「人生は自分の心のあり方ひとつ、結構面白い人生だったぜ!」と私たちに語り掛けているように思う。

時代も変わり、社会の中の個の存在感も変化してきた。しかし寿命が長くなった現代、高杉晋作には到底かなわないが、私たちも人生の一時期だけでも「みんなの幸せの」為に全力を尽くす時代が有つてもいいのではないか。私の大好きな宮澤賢治は言っている。「世界がぜんたいに幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」と。

私も亡き叔母からの叱咤激励を支えとして、地域の元気と今一段の大島グループの発展を目指して、皆さんと一緒に力の限り頑張っていきたい。

代表 大島 誠



大島グループ
代表 大島 誠

叱咤激励の遺言

昨年の11月、15年間お世話になったサンクス高田で叔母が他界した。身体が不自由で穏やかな叔母であったが、私たち兄弟のことをいつも気にかけてくれていた。葬儀後、遺言書を読んで驚いた。私への感謝の言葉の最後に「これからも、人様のために一生懸命頑張ってください。ずっと見守っています。」と綴られていた。「人のために尽くせ」「見ているぞ」との叔母の言葉は、「そろそろ少し楽をしてもいいかな」と思い始めた時に「誠、まだまだ道半ば、働きなさい、役割を果たしなさい」と強烈な喝を入れられた思いがした。

グループ事業の創業の視点

私が大島家に婿入りしたのはJCV(上越ケーブルビジョン)が営業を始めて間もないころ。先代の大島精次会長の経営のエネルギーは総てJCVに注がれていた。JCVが企業として成り立つかどうかの最重要期である。当時JCVの番組制作の一部を担当していたバーツプロダクションが自社の経営改善の為にプライダルビデオの撮影に乗り出そうとした際、精次会長にすごい剣幕で叱られた。「バーツがプライダルビデオをやつたら、プライダルビデオで食べている会社の経営が厳しくなる。その会社の社員もJCVの契約者だ。経営が厳しくなってJCVを解約したらどうする!」これにはさすがに驚いた。JCVの経営が軌道に乗ることが最優先の時代であった。従つて、私が取組む仕事は「JCVのお客様の経営に邪魔にならない仕事」「あまり儲からないで地域の人たちが挑戦して来ない分野」という事になった。

一方で、当時私が社員として所属していた電気工事会社の大島クリエート(現在は合併して東光クリエートとなる)はまだ駆け出しの会社で、地元の老舗の電気工事会社の下請けをしていた。しかし、下請けは景気が悪くなり仕事がなくなると真っ先に発注を切られる。下請けの経営はつらくて厳しい。その時以来、私は常にこう考えている。

・どんなに小さな仕事でも一方的な下請けではなく、独創的な技術やアイディアを持ち、自分たちが主体でいられる(価格決定権を持つ)会社を目指そう
・たとえ世界や日本全体の景気が悪くても、何とか上越だけは元気であり景気を保てる環境を創りたい

このふたつの思いを「経営の基本方針1・2」に表現している。

■大島グループ 2026年の行動指針

経営の基本方針

- ① 収益性と社会性が両立する経営を実践する
 - ② 個性的で強靭な独創的市場を開拓する
 - ③ 進取性と堅実性を兼ね備えた地方発の異業種企業集団へと成長する
- バランスのとれた経営
独創的な経営
躍動する経営

大島グループが目指す企業の姿

- ① 働く喜び・生きる喜び・成長する**喜びを実感できる企業**を目指す
- ② 社員と家族の**生活の向上**と心身の健康を増進させる**企業**を目指す
- ③ 地域を愛し、地域に愛され、**地域の誇りとなる企業**を目指す

中期行動テーマ (2026年から2028年)

- ① 引き続き 資本の整理・社長交代を進める
- ② 企業活力研究会・観光事業創造プロジェクトなど 具体的な事業活動を通して次世代経営層の育成をはかる。
- ③ 大島グループで働く総ての人達が 仕事を通して ひとり一人の資質や人間性、社会や未来を見つめる力が高まっていく職場環境を創造していく。
- ④ 利益の追求にこだわる。事業からの撤退も辞さない。その資金を元に新たな事業に挑戦する。
- ⑤ 労働人口の減少、私たちが狙う上越発のマーケットの広域化・細分化に対応するため、ITの積極活用による効率化と高収益化を図る。

2023年から2025年の中期行動テーマに基づく包括的評価

- ① 井手塾・バーツプロダクションの株式の整理が完了した。
- ② バーツプロダクション・越の国・くびき野ライフスタイル研究所・リフォーム119・大島ホケンの社長交代が完了した。
- ③ 浄興寺大門通りスクエアの開発事業がスタートした。
関連して、民泊のizen高田事業（大島自動車販売）、多賀茶焙煎所事業（バーツプロダクション + 越の国）、久遠チョコレート事業（井手塾）、鈴木旅館事業（ランドスタッフ）がスタートした。
- ④ エリアを超えての事業拡大に挑戦している。
バーツプロダクション ポスティング事業部 新潟県内の配布件数40万件に広がる
富山県の県北地域のポスティング開始
- まるごとメディア新潟 「まるごと新潟！」創刊・「お仕事図鑑」県内各地で発行
- 井手塾 カーブス事業部 「カーブス」イオン新潟青山店 OPEN
- 「からだ動き回復センター」上越店・長岡店 OPEN
- こども未来事業部 「また明日いといがわ」を始め3教室 OPEN
- 「久遠チョコレート」長岡店 OPEN準備に入る
- MTOげんき薬局 「げんき薬局」浦川原店 OPEN
- ⑤ 新しい事業を開始した。
くびき野ライフスタイル研究所 「(一社)ライフサポートあなたに寄り添う」開業
- 大島ホケン 「あんしん終活」シニアサポート事業 開始
- ジェイズ・クリエイション 文化継承事業「継」立ち上げ
- 上越タイムス社 地元企業の情報紙「Debut!」発行 市内全高校に配布

「ターゲット5」の実現に向けて

- ① 精度の高い事業計画を立案し、実行・検証・行動の修正を経て事業目標を達成する
- ② キャッシュフローの健全化が経営の根幹であることを共通認識する
資金計画・返済計画を毎年更新する
- ③ 事業計画立案に際しては「ターゲット5」の達成を目指す
経常利益率 5%以上
株主配当率 5%以上
社内の事業や慣例を取りやめる 5つ以上
- ④ 月次の試算表を社内で作成し、翌月第5営業日までに社長および本部に報告する
- ⑤ 毎月 経営会議（役員会）を開催し、事業目標達成に向けて絶えず行動改善を行う

全員研修について

- ① 心と身体の健康な生活についての研修
- ② ハラスメントに関する研修
- ③ 発達障害（多様性理解）に関する研修
- ④ お金と終活など人生設計に関する研修

あなたが豊かでワクワクする人生を送るために VOL.3 (還暦を過ぎて 今分かってきたこと)

人生65年を生きて来て、「こうすれば人生豊かに幸せに過ごせる」という確信に近い思いを皆さんにお伝えします。あまりにも簡単ですが、1年後には現在とは違う人生を歩き始めていることでしょう。あなたの性格や感情は体内で産生されるホルモンがコントロールしています。したがって、ホルモンのバランスを変えることで、性格や感情の動き 行動のパターンも変わり、人生がダイナミックに変化しはじめます。現在ホルモンと言われる物質は100種類以上発見されているそうですが、ここではその中でも基本的な重要な5種類とその活性化の方法を紹介します。

セロトニン (幸せホルモン)	気持ちを安定させ、人生を豊かに生きる基本のホルモン 日光にあたる・ウォーキングやジョギング、ヨガ、縄跳びなどリズム運動をする、 食べ物はバナナ・大豆製品・卵・赤身肉・ナツツ・乳製品・さつまいも等が良い。
ドーパミン (快感ホルモン)	達成感や爽快感、喜びなど生きる意欲をつくる 小さな目標を立て達成していく・掃除やホチキス留めなど単純作業を10分位する。 瞑想や呼吸法を実践する。（鼻から4秒吸い、7秒止めて、8秒かけて吐く呼吸）
ノルアドレナリン (闘争・逃走ホルモン)	ここ一番の時に爆発的な力を発揮する 踏ん張りがきくようになる 大きな声で心を込めて挨拶する習慣をつける。気合を入れた深呼吸をする。
オキシトシン (愛情ホルモン)	不安がやわらぐ・対人関係が良くなる ハグする・手をつなぐ・抱き枕を抱いて寝る・ペットを飼う・植物を育てる。
テストステロン (やる気ホルモン)	意欲がわく・若々しく行動できる 背中や腿など大きな筋肉を鍛える・ストレッチや無理のない筋トレをする。

VOL.1とVOL.2の内容は
二次元コードより→



代表 大島 誠